

意見交換会における意見に対する対応

令和5年10月31日



（1）意見交換会の開催概要

日時・場所

令和5年8月8日（火）10:30～16:00
あかしこども広場 多目的ルーム

目的

部会での検討事項に、ヒアリングを通じて抽出された課題や、公園利用者からの幅広い意見を反映する。

テーマ

明石公園における**活性化**

※【募集に際して示した具体例】

- ・利用者の公園管理運営への参画方法について
- ・公園管理に民間事業者のノウハウや資金を呼び込む手法について
- ・利用者によるイベント企画やボランティア活動を促す仕組みについて
- ・公園管理に関する意見収集や情報発信について

参加者

19組（うち2組欠席・副部会長代読）



（２）意見への対応方針

- 明石公園の活性化※には、**明石公園に関わる全ての関係者の活力を活かす**ことが必要。

いただいた意見には、明石公園だけでは解決できない、あるいは、県単独では実現できないような提案・要望も多く含まれており、その実現には、明石市や公園利用者、活動団体、地元企業など、多くの関係者の努力が不可欠である。

- 今回いただいた意見については、今後、誰がどのように実現していくのか、その可否も含めて関係者間で共有し、協議の場等で具体的に検討していく。
- 現時点で県として対応していくべき内容については、可能なものから対応する。（次頁以降参照）

※ 明石公園における「活性化」の方向性

- ① 既存の活動の継続・さらなる発展
- ② 新たな主体(利用者、市民、民間事業者等)の参画や、新たな手法の取り入れ
- ③ 上記 2 つの相乗効果の発揮



（3）県としての対応

○意見交換会における各意見について、県として下記のとおり対応する。

分類	意見要旨	県の対応方針
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 重要な史跡であることについての情報発信の充実 ➤ 県市協働による城下町、明石としての歴史・文化の展開 	<p>来園者向けの園内看板等の充実について検討します。</p> <p>明石全体の歴史文化の発信については市の方針も踏まえ公園でできる対応を検討します。</p>
情報の集約・発信 【自然】 【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 明石の豊かな自然を知り、学び、楽しめるセンター機能の創設 ➤ 研究や活動の成果を共有できる場所としくみの創設 ➤ 公園全体をミュージアムとして捉え、外に出て学びたいくなるような「目次的」機能の実験的な展開 ➤ 公園の自然を案内・解説するガイドの設置 ➤ 公園で実施するイベントなどの情報の公開と共有 ➤ 子供含めた来園者が公園の情報を集約・発信できるしくみ ➤ 活動者・団体のわかる『明石公園人間図鑑』の作成 	<p>市民協働による公園管理、効果的な情報集約・発信については、部会のほか協議の場においても検討していきます。</p> <p>また、県では、PARKFUL等、公園の情報をリアルタイムで共有できるアプリの活用を検討しています。</p>
公園管理ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 管理作業や環境活動と健康を関連づける ➤ 市民も一緒に公園管理を行う ➤ ボランティア活動の窓口と支援体制の構築 ➤ ボランティア作業後には楽しみをつくる ➤ 草刈りの実施時期を工夫して希少種を保護 ➤ 管理で出た枝や落ち葉等を堆肥・肥料として活用 	<p>引き続き取り組んでいきます。</p>
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 立地を活かしたヨガフェス、食や健康について考える機会の展開 ➤ 魚の棚など公園内外を一体的に捉えたイベントの実施、情報の発信 	<p>活動団体のマッチングや、各イベントの共有については、協議の場において取り組んでいきます。</p>



（3）県としての対応

○意見交換会における各意見について、県として下記のとおり対応する。

分類	意見要旨	県の対応方針
活性化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 企業だけでなく市民の民間活力を活かす ➤ 具体的なテーマ設定のもとに適切なパートナーを選ぶ 	民間活力の導入は活性化のひとつの手段です。実際に導入する際には、県民からの意見や様々な条件を考慮し、部会で定めたルールに則り検討を進めます。
インクルーシブ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 障害の有無に関係なく子どもたちが一緒に遊べる場所を実現 ➤ 孤独・孤立対策の拠点機能、居場所づくり、福祉の人材育成 ➤ 車椅子でも使いやすい整備（全ての人に使いやすい公園） ➤ こども広場における自然と調和した遊具の設置 	当事者の声を聞きながら、誰もが使いやすい公園の整備を進めていきます。こども広場では、インクルーシブ遊具の設置に向けた検討を始めます。
既存施設の活用	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自転車競技場も含め、公園の施設を適切に維持・修繕しながら多くの人を使い、人の流れができ、街にも貢献ができるように ➤ 福祉の拠点として旧明石市立図書館を活用 	個別の施設の取扱いについては、別途検討していきます。既存施設を改廃する際には、部会で定めたルールに則り合意形成を図ります。
自然にふれあう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学校の授業のフィールドとしての価値が高い ➤ 駅前で自然に触れ合える貴重な公園 ➤ 当たり前の自然の価値を五感で認識できる 	公園の持つ効果・機能として、引き続き維持していきます。
地球環境問題への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 明石公園の土壌も含めて、貴重な環境であることをアピール ➤ CO2を吸着させるグリーンインフラとしての位置付け ➤ 地下水を涵養する土壌、明石の海を育てる緑地 	地域の都市化が進む中、公園が貴重な緑を維持してきたことや、公園の持つ効果についても、広く発信していきたいと考えています。